

「今月の主な紙面」

2. D A N S、模擬面接会
3. 介護・国保改善学習会、私のお気に入り、わんこにゃんこ
4. 相談室、遺跡灯台見学会、読者のひろば、クロスワード



愛知県民主医療機関連合会

〒456-0006 名古屋市中熱田区沢下町9番3号
☎ 052-883-6997 FAX 052-889-2112
発行責任者 武田 修三
URL : <https://www.aichiminiren.jp/>
E-mail : aichiminiren@aichiminiren.jp

第449号

感染症や自然災害の時でも 安定した介護サービスを継続するために

BCP(業務継続計画)策定学習会を開催～県連介護福祉委員会



講師の尾崎医療生協・藤岡さん
所が機能不全を起こし、濃厚接触者の特定が十分にできなかったこと

BCP策定の有無が
クラスターに至る
分岐点
学習講演では、尾崎医療生協で経験した複数のクラスター事例を教訓として、職員・利用者の生命を守り、事業継続を図っていく上でBCP策定が相当重要であることを学びました。

感染症や自然災害の発生した場合であっても、介護サービスが安定的・継続的に提供されることを目的に2021年介護報酬改定ですべての介護保険事業所に業務継続計画(BCP)の作成が運営基準によって義務化されました。



尾張健友会
河田 洋祐
介護事業部長

多様な対応の方法と
改編の必要性
事業継続対応は、事業形

具体的には、職場での学習会の実施やチェック表を用いた定期的な感染対策の相互点検、職員・利用者の行動歴から感染者との接触状況を洗い出す訓練をすることなどです。初動対応では、慌てないように関係各所(行政、利用者家族、ケアマネジャー等)への連絡や説明、一斉PCR検査対応等をまとめておき、その後の事業継続対応にスムーズに移行していくことが大切であることを学びました。

それらを踏まえ、危機管理体制の構築にあたっては、医療との連携を考慮に入れた役割分担を構築していくことや平時からの備えとして、備蓄品の管理や職員への教育・訓練、マニュアルの整備等を欠かさず行っていくことが大切であることを学びました。



6法人37事業所・53名がBCP策定を学びました

愛知民医連 第51回学術運動交流集会のご案内
新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、労働会館からオンラインで開催します。

と き 2021年11月23日(祝・火)
オンライン 労働会館より配信します
名古屋市中熱田区沢下町9-3
県連事務所のある建物

☆午前10時～12時
講演「人権 Café」へようこそ～自分らしく生きるための憲法のキホン
講師 黒澤いつき 氏
「明日の自由を守る若手弁護士の会(あすわか)」共同代表
「民医連共済だより」に連載中
*視聴会場はありません。
お好きな場所でPCやモバイルからご視聴ください。

☆午後1時～4時
分科会(演題発表者・共同研究者の方は12時半までに労働会館に集合)

具体的な取り組みを
もとした
グループ討議
グループ討議では、それぞれのグループで抱えている悩みや課題、これまでに

BCP策定にあたっては、全体像としてそれらのことを踏まえた上で作成し、その後のシミュレーションを繰り返しながら改編し、実際に使えるもの(絵に描いた餅にならないよう)にしていくことが必要であることが分かりました。

☆10月9日看護学校を目指す高校生向けに面接練習会を実施、13名参加。11月にも開催予定。

☆10月よりじつこひろばが再開。各会場子どもたちの元気な声が広がりました。

☆たまり場やサロンも再開され、少しずつ活動が広がってきています。

名 南
☆10月30日、名南病院地域「医療・介護・生活なんて

☆2021年11月で南医療生活は創立60周年・南生協病院は開設45周年を迎え、その記念事業の一つとして各地域でだんらんまつりを10月12月に開催します。10月17日に豊明ブロックでだんらんまつりin豊明を南医療生協の他14団体と共催で470名の参加で開催しました。

北
☆10月20日南民商共済部・婦人部主催の健康講座「コロナ禍の働く人の口の健康」20名参加。10月の呼続健康ウォーキングは、熱田神宮散策と宮さしめんを堪能。SDGsの会では、「わかものが求める本当の豊かさとは」大阪市立大学大学院准教授・斎藤幸平氏の講演をYouTubeで視聴しました。

☆職員・組合員の参加で、10月1日、計40人が病院周辺を、30日にはかめじま地域を33人で「いっせい訪問」しました。

☆10月30日、会場とズーム合わせて約120人が参加し、『看護活動発表会』を開催。一人ひとりの創意工夫で乗り越えてきたコロナ禍での看護活動を発表。

南
☆上半期の決算をうけて振り返りの職責者会議を行い、在宅訪問薬剤業務の充実、地域からの処方箋受付拡大の方策などを話し合いました。県連学連には処方箋の検査値印字の活用、薬局での中断チェックなど若手が意欲的な発表を準備しています。

はみんぐ
☆10月19日から11月4日にかけて、一宮市・岩倉市・江南市・稲沢市で自治体キヤラバンを行いました。職員10名が参加。内容はコロナ関連や介護の懇談など。

☆11月15日、友の会主催で小児科・矢嶋たえ子医師の講座「コロナの子どもの影響と気を付ける事」を対面とオンラインで開催。

ファルマネット
も街かど相談室」を近くの商店街のたまり場で実施。今回5回目で中日新聞夕刊に企画の事前紹介がされた。弁護士2名、看護師、相談員、友の会が参加し、相談(電話も受付)・健康チェック・食料支援を行い、地域から多くの参加があった。

尾 張





講演会には民医連新聞にエッセイ「ひめは今日も旅に出る」を執筆された長久啓太氏（岡山県学習協事務局長）をお迎えし、患者家族としてご自身の経験談から「患者の立場に立つこと」について講演いただきました。

オンライン開催でDANSを再開できました。看護学生だけでなく、看護士として自分たちが患者さんに向き合う姿勢について深く考えさせられる講演で

看護学生さんの感想 (抜粋)

SGD（班別討論）では学生同士の交流が十分に出来たか不安な部分がありますが、自分の目指す看護師像をしっかりと持った学生が多く、さすが民医連の奨学生だと心強く感じる事ができました。

自分のめざす 看護師像を SGDで語り合う

「患者の立場に立つこと」を学習

患者家族の経験談から「患者の立場に立つこと」を学習

7県連から看護学生33名、職員32名の参加、愛知からは、看護学生11名、職員8名の参加でした。



長久啓太氏が記念講演



県連看護学生委員長
瀬川 真貴子
名南病院 看護学生担当

昨年の中止をのりこえ、今年はオンラインで開催

や看護に活かせることがたくさんあっていい機会になりました。（卒年2023年）

す（卒年2023年）
●授業では教えてもらえない、実際の実習、自分の悩み不安について直球で聞けてよかったです。（卒年2024年）

りました。（卒年2024年）
●今回初めて参加しましたが、DANSに参加しなかったら関わることの出来なかつた方々と関わることができて本当に嬉しく思います。自分にとってとてもいい刺激となり学びになりました。また参加したいです。（卒年2024年）

受験生がんばろう

医学部受験対策企画

模擬面接の体験会開催



医師・医学生との交流（オンライン）の様子

10月30日の面接会には3名が参加し、身だしなみ講座にはじまり、志望校に合わせた個人面接練習、集団討論練習を行いました。受験のモチベーションアップにも役立ててもらえるよう



緊張感も面接練習では貴重な体験です

県連医師養成委員会は、医学部進学を目指す高校生を対象にした「模擬面接会」を10月12月に3回、名古屋市内の労働会館本館会議室で行います。面接試験はコミュニケーション能力を重視した医学部特有のものであり、医師養成委員会では受験生支援の大切な企画として取り組んでいます。

参加者の感想
(アンケートから一部抜粋)

●マナーは知らない事

名古屋市に国保・介護保険改善を要望(自治体キャラバン)

社会保障の拡充を求める愛知自治体キャラバンが、今年も県内54自治体を訪問して行われています。

11月4日、名古屋市との懇談が行われ、23名が参加しました。



社保協・森谷議長（みなと医療生協）

国民健康保険の改善では、参加者から市に対して、「自営業者にはコロナで所得ゼロやマイナスの世帯もあるのに保険料減免とならない。減免の対象になるよう制度の改善を」「保険料滞納者への財産の差し押さえはやめてほしい」「子ども均等割の保険料は国が22年度から未就学児5割軽減を決めた。市独自の子育て支援として、18歳まで年齢拡大してほしい」などの要望が出されました。

名古屋市は「介護保険制度は国の制度なので、法制度の中で整備されるべき。低所得者への軽減は、国に要望をあげています」と回答しました。

第29回 愛知民医連新聞

新年号 写真コンテスト

撮影機材は問いません。お気軽にご応募ください♪

スマホでも、コンパクトカメラでも、一眼レフでもOK!

テーマ 「私のベストショット」

応募資格 愛知民医連内の各法人職員（パート職員も可）

作品形式 1枚もの1点（組み写真不可）。

※カラー・白黒は問いません。

※プリント作品：サイズ不問です。ご郵送ください。

※データ応募：10MB以内。A4版普通紙・カラー印刷にて選考。

応募方法 以下の内容を添付しご応募ください（すべてお答えください）

①写真タイトル、②所属法人、③職場名、④職種、⑤氏名（ふりがな）、⑥作品返却の要・否、⑦来年・写真コンテスト用チラシに写真使用の可・不可

◇郵送応募：〒456-0006名古屋市熱田区沢下町9-3
労働会館本館3階 愛知民医連・新年号写真コンテスト係

◇メール応募：shimazaki@aichiminiren.jp
愛知民医連事務局・新年号写真コンテスト係

◇QRコードから応募(Google アカウント使用)

締め切り 2021年11月30日(火)必着

入賞 図書カード進呈 金賞5千円、銀賞3千円、銅賞2千円、入選1千円



地域から介護改善・国保改善の要求運動を

愛知社保協が介護と国保の学習会ひらく



大阪社保協の経験を生かした介護改善運動を学びました

介護問題学習会

愛知社保協は9月26日、介護改善運動のために「介護問題学習会」を名古屋市内の労働会館東館ホールとオンライン参加を結んで開催しました。

大阪社保協・介護保険対策委員長の日下部雅喜氏が「介護保険料引き下げに向けた地域運動」と題して講演されました。

介護保険料引き下げは住民運動の試金石

日下部氏は介護の現状を「保険料あつて介護なし」と指摘。介護保険が始まった時の利用料は1割だったが、現在は合計所得160万円以上で2割負担、200万円以上だと3割負担と上がり続けていることや、軽度の人のホームヘルパー、デイサービスは介護保険から外され、特養には要介護3以上でないとい入れない、

介護施設の部屋代・食料料もどんどん重くなり払えない人が出てきていることを指摘。

さらに介護保険料は収入が0円でも払わないといけない、何十年払っても掛け捨て、所得の低い人ほど保険料負担が重い、滞納者への差し押さえ・強制処分など厳しい制裁がある、などの問題を指摘しながら、介護保険制度をどのように運営するかは市町村の取り組みであり、住民運動の試金石でもあります、と語られました。

介護給付費準備基金と一般財源の繰り入れ

介護保険は3年を1期とする介護保険事業計画で運営されます。2021年からの第8期介護保険事業計画では保険料の全国平均が6014円となり、制度が始まった第1期の2・07倍です。愛知県の平均は5732円。名古屋市が6642円、一宮市5817円となっており、「介護保険料を何とかしてほしい」というのが多くの高齢者の願いです。

日下部氏は、介護保険料の引き下げのために、介護給付費準備基金に着目することを提案されました。自治体は徴収した介護保険料を3年間管理し、余った場合には「準備基金」として次の3年間に繰り入れて、保険料を抑制する仕組みです。ところが多くの自治体で保険料の抑制がされずに

準備基金が増えているとして、基金の取り崩しで介護保険料の引き下げが可能になることを強調されました。

また、市町村が介護保険料の高額化を防ぐために一般財源を繰り入れることにしても、法律上の禁止規定や制裁措置は一切ないので可能なことです、と説明がありました。

介護改善・介護保険料引き下げの地域運動を

日下部氏は2025年度からの第9期には保険料の大幅引き上げが見込まれると警鐘。介護改善・介護保険料引き下げを求める運動を地域から強めていくこと

国保改善運動交流集会

愛知民医連は、愛知社保協と共に国民の受療権を守る立場で、国民健康保険の改善に取り組んでいます。

9月26日、愛知社保協が国保改善運動交流集会を開催しました。愛知社保協副議長の澤田和男氏が「国保の現状と2021年国保運営方針をめぐる国や各地の動きについて」として基調報告を行いました。

澤田氏は、国民健康保険の保険料（税）が所得の10%にもなるという状況を紹介（2018年度全国平均結果）。健保組合の5・8%、協会けんぽの7・5%と比べても際立って高額ですと指摘され、生活困窮から保険料滞納となり保険証が取り上げられ病院にかかれぬ、家財を差し押さえられるなどの事例が起きており、国庫負担の増額と市

を強調され、①わが自治体の介護保険を知ること、②当面下げるために必要なことの要求化、③本質的な改善は国庫負担増、④利用しやすい制度運用・改善を要求すること、⑤人材確保策は独自の努力を求めること、という5点をアドバイスされました。

「法定外繰入の解消」

国が「法定外繰入の解消」を求めたことで、全国の市町村は赤字解消のために続けてきた繰入（法定外繰入）を大きく減少させ、愛知県でも減少しています。

澤田氏は「法定外繰入」には保険料上昇を抑える意義があることを実例で示しながら、赤字解消を目的としながら、赤字解消を求めない繰入の拡充を求めている。被災者や子ども、生活困窮者などに自治体が独自に行う保険料減免のための繰入は「解消」の対象外であり残させていくと呼びかけました。

「保険料水準の統一」

「保険料水準の統一」について澤田氏は、国の意思通りには進んでいないが、統一すれば急激な保険料引き上げを招く。市町村格差（医療提供体制、医療費水準、平均保険料、算定方式、独自減免、独自給付、保険事業、収納率）は大きい。

政府がめざす国保改革

澤田氏は続いて、国がめざしている国保改革の2つの柱は「法定外繰入の解消」と「保険料水準の統一」であり、今年6月には国保運営方針（都道府県が策定）にこの2つを明記させる法改正が行われたことを紹介。これに対して全国市長会・全国町村長会が、「地方分権の趣旨に反する」「国が一方的に議論を押し付けることは受け入れられない」と痛烈に批判していることや、全国知事会も「具体化にあたっては、地方との十分な協議が必要で、強制すべきでない」と意見したことを紹介しまし

た。

た。

基調報告に続いて、今年の自治体キャラバンでの要請ポイントの学習、愛商連、名古屋の国保と高齢者医療をよくする市民の会、共産党自治体部、静岡県社保協、岐阜市社保協の方から取り組みの報告交流が行われ、終了しました。



友達とツーリング

している時間が
何よりも楽しくて
幸せです

私はいろいろな趣味がありますが、その中でも最近バイクに乗る事が一番の趣味です。バイク

は春夏秋冬で移り変わる景色や、外の風を肌で感じる事が出来、車では味わえない楽しさがあり

ます。バイクに乗り始めて、ツーリング友達もたくさんでき、人の輪も広がりました。その友達とツーリングをしている時間が何よりも楽しくて、幸せです。これからも事故には気を付け、安全にバイクライフを楽しんでいきたいです。

尾張健友福祉会
特別養護老人ホーム
ちあき
介護福祉士
くりやかわ
厨川 真衣



暴れん坊ですが、
仕事の疲れを癒してくれる
大切な愛犬です

我が家に迎えてから5年前、同時期に2匹の愛犬を天国に送りました。数年後、そろそろ犬の居ない生活も寂しくなり、夜勤明けでばんやりと気分高揚の状態です。トシヨップへ向かいました。

南医療生協病院
看護師 鈴木 久美
犬種 シーズー
名前 チャチャ・3歳



目前に欲しい犬種シーズーを発見！
店員さんには「この子結構暴れん坊ですよ、大丈夫ですか？」と念を押されましたが、お構いなしで即決購入してしまいました。

相談室

連載⁸⁸

「聞く」だけでなく「聴く」医療活動を大事にしていきたい

コロナ禍の下で生活保護の相談が急増

名南病院での無料低額診療事業も10年が経過し相談・承認件数とも年々増加していました。

2020年度はコロナ禍の下でさらに増加を予想していましたが2020年度の新規相談者は前年の半数。今年度上半期

も同様で日本人は減少（15人↓10人）、外国人は増加（3人↓7人）傾向です。厚生労働省の発表では生活困窮相談が前年比3倍、一気に生活相談に至った影響が推測されます。

当院でも医療費相談にもっとアクセスしやすいようにと無低診療事業案内とは別に新たに医療費相談ができるメールBOXを作成しました。

新設した医療費相談のメールBOXに寄せられた相談からそのメールBOXに相談を寄せてきたAさん。一人暮らし、40代女性です。数年前から右胸が変

形、1年前からはしこりを自覚。最近では咳も多く、片道5分の店までが息切れで15分もかかるようになっていました。高校卒業後は正規・派遣を繰り返し、最後の職場での朝礼が苦痛となり退職。以後ハローワークに通い面接まで行くもフラッシュバックで上手くいかず就職できずにいました。退職後は預金と母親からの援助で生活。家族は両親・妹ですが昔から両親の関係性は悪く、母親も癌に罹患、妹は鬱で退職し障害者枠での就労と母親の介護を担っていました。

これ以上援助はできないと言われる中、家族に

自分の体のことも相談できず、又生活保護の相談も足が踏み出せないでいました。メールは咳で長く話せない、面談が苦手という理由もありました。入院と同時に生保申請と、家族には自分から話もできたことで今後の療養に対して精神的支援にもなりました。

生活保護は「病気」の診断が先とも思っていたAさん。コロナ禍で顕著となった格差拡大。「聞く」だけではなく「聴く」ことを大事にしな

ら安心して医療が受けられる医療活動を行いたいと思います

名南病院 連携相談室 鷲野 雅子

激しい空襲の爪あと残す遺跡灯台

名古屋港10号地灯台見学会

市民要求に応えた模擬見学会

愛知民医連も参加する「健康と環境を守れー愛知の住民いっせい行動実行委員会」は、環境団体や公害病患者団体などをつくる市民団体です。毎年の愛知県・名古屋市との話し合いには、愛知県知事、名古屋市長にも出席

席していただいている実績があります。この要求のなかに、第2次世界大戦の空襲で被災した10号地灯台を戦争遺跡として見学する機会を設けてほしい、というものがありました。10号地灯台は出入場管理や石炭の荷役作業があり現在は海上からの見学だけに限られています。

名古屋港空襲の跡を残す唯一の戦跡

10号地ふ頭（現・潮風ふ頭）は、戦時中は海軍の物資集積場として利用されていました。このふ頭南端に「10号地灯台」があります。昭和14年に建設された灯標で、当時はガス灯の明かりで港を見守っていました。

軍事工場もあった名古屋港は第2次世界大戦末期には空襲の攻撃拠点となり、10号地灯台も激しい空襲に遭いました。灯台の部分は失われ、大きくえぐられた灯塔、灯台基部のコンクリートを削ったいくつもの弾痕が爆撃の激しさを伝えています。

今後の見学会の実施は、名古屋港管理組合の検討次第ですが、戦争を学ぶ貴重な戦跡として見学ができるように願っています。

県連事務局 島崎 宏行



名古屋港10号地灯台



感じられる気候になってほしいな

子どもの風邪が心配です

千秋病院

介護福祉士 棚田 英里

最近寒くなってきたので、子どもが風邪ひかないか心配です。⑤

春秋を感じられる気候に北病院

看護師 池田 幹人

今年暑い夏が長く10月に急に寒くなり、過ごしや

すい秋が短かったように思います。春や秋をしつかり

運動会

協立総合病院

放射線技師 中島 あゆ子

上のチビの年長さん最後の運動会！家ではふざけてばかりのワンパク小僧が、

真面目な顔で競技をしていて、不覚にも号泣してしまいました（泣）

歳末の気分です

千秋病院

理学療法士 三島 ひかり

家族がぞくぞくとインフルエンザワクチンを打ち始め、なんとなく歳末を感じ始めました。

将来、学用品はどうなる？

名南病院

ケアマネ 宇部 昌代

息子が学校からタブレット

トを持ち帰りました。小学1年が躊躇なく操作する姿に驚きます。近い将来、紙の教科書やランドセルは不要になっていくのでしょうか。

定年を迎えて感謝かなめ病院

看護師 加藤 安子

11月で定年となりました。医療生協に就職し、やりがいのある仕事ができ、職場の仲間にも恵まれ、本当に感謝しています。長い間ありがとうございました。



コレが悪いと腰痛や肩こりになる

裁縫○○○、大工○○○、家財○○○

17

〈クロスワード当選者〉

10月号、正解は「腹八分目」。応募総数29通で全員正解でした。次の方々が当選されました。

・藤立 敦子さん（生協わかばの里）
・伊藤 美鈴さん（かなめ病院）
・舟橋 康子さん（かなめ病院）

〈応募要項〉
あて先は、〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町9-13 愛知民医連宛。
①こたえ、②事業所名、③職種、④氏名、⑤近況や紙



https://goo.gl/k5hZMy

QRコードをスマホなどで読むと応募フォームから投稿できます。

理事会報告

☆10月31日投票で、日本の未来を決める歴史的な総選挙がおこなわれます。愛知民医連では、名古屋市内の1区から5区と千秋病院がある10区の予定候補者

「民医連の要求」と「原発ゼロ」への態度について質問状を送りました。私たちの願い・要求を託せる候補者を選択し、投票することを目指しました。

☆あいち自治体キャラバンは今年で42回目を迎えました。10月19日から22日にかけて県下の自治体と懇談を行いました。名古屋市の懇談は11月4日、愛知県の懇談は11月8日です。多くの自治体で子ども医療費の要望が前進しました。

☆10月28日、来年度研修医マッチング結果が公表されました。協立PGは4人、南PGは6人の結果でした。協立PGは、引き続き2次募集をおこないフルマッチを目指します。

☆11月11日は介護・認知症なんでも電話相談を実施します。また、28日には、豊橋交流会にて甲状腺エコー簡易検診を開催します。感染予防に留意しながら取り組みます。

☆11月23日県連学術運動交流集会は初のオンライン開催です。ジェンダー平等の実現は社会全体の課題ですが、人権が蔑ろにされている中、「人権cafe」へようこそ！自分らしく生きるための憲法のキホン」の記念講演があります。こぞって参加ください。

【10月22日第4回理事会 県連事務局長 武田修三】